

平成31年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	遺跡発掘でわかった縄文のムラとくらし
事業主体 (連絡先)	ふるさと文化を語り継ぐ会 〒91-0301 茅野市北山 6574 ☎0266-78-2442
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業 ⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	497,408 円 (うち支援金: 373,000 円)

事業内容

- ①事業の内容・意義を大昔調査会会員はじめ一般市民の理解と関心を得るために講演会を開催した。
- ②資料作成に当たっては、各市町村が保有する「発掘調査報告書」の使用許諾を得て大昔調査会が精力的な作業を行った。
- ③遺跡現状の映像化に当たって、視覚的効果を高めるためにドローン撮影を行った。
- ④ホームページ掲載用データ作成において地図データ上の遺跡マークと解説の連動、ドローン映像ユーチューブ化などエルシーブイの技術力を活用したシステム開発を行った。
- ⑤成果活用に当たって、報告会や小学校授業での取組を行うとした

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①遺跡資料は、博物館等の行政内部資料となっていて一般に観られない資料を公開した。
- ②マップデータと解説資料を一元化した。
- ③資料の選定解説を大昔調査会、データ処理システム開発をエルシーブイに委託し相互協力関係を緊密に行い能力を最大限活用し完成度を高めた。
- ④大昔調査会と共催した講演会は毎回満席状態(約80名)で好評を得ると共にホームページ他に類例がなく注目された。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ①作業量と経費の関係から今回は諏訪市分に限定せざるを得なかったため、次年度以降に諏訪市以外の遺跡分を整備し完成させる。
- ②一般市民対象の講演会を学校教育関係に範囲を広げる。
- ③日本語表現以外に外国語表現(英文化等)を加え世界への発信力を高める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【 HP 導入部扉 】

【 目標・ねらい 】

- ①諏訪の縄文時代の文化遺産を可視化すること
- ②遺跡マップに遺跡所在地表示と解説を一体化すること
- ③専門分野の知識と技術力をタイアップし、視覚効果を高めること
- ④一般に周知し関心を深めること

※自己評価 【 A 】

【理由】

諏訪地域の縄文遺跡分布の状況を視覚化し、学術的利用を超えて一般市民に訴求力を他に類例なく高めた。